

〈10月は食品ロス削減月間〉地域の”お得”情報を住民に配信 食品ロス削減を目指すwebサービス「しらかわタバスケ」を 10/15(日)福島県白河市で開催のしらかわ環境フォーラムで紹介

自治体向けの業務支援を行う株式会社G-Place（本社：京都府長岡京市、代表取締役社長：綾部英寿、以下「当社」）の公共イノベーション事業グループは10月15日(日)に福島県白河市で開催される「しらかわ環境フォーラム」に白河市環境保全課と共同で出展します。ブースでは当社が提供する、食品ロスを減らすためのwebサービス「タバスケ」を活用して白河市が運用する「しらかわタバスケ」の紹介を行います。

しらかわ環境フォーラムについて

しらかわ環境フォーラムは、「コミネス」と「りぶらん駐車場」2つの会場を結び、さかなクンの環境講演会、ステージ発表、エコ工作教室や企業の先進取り組みのほか、次世代自動車の展示やキッチンカーも出展する、大人も子どもも身近なところにあるものから楽しんで環境を学べるイベントです。市民一人ひとりの脱炭素への意識を深化させるきっかけとすることを目的としています。

開催概要

イベント名：しらかわ環境フォーラム

開催日時：2023年10月15日(日曜日)11時から16時

会場：白河文化交流館コミネス(会場URL:<http://cominess.jp/>)

公式URL：<https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page008635.html>

本イベント出展の経緯

白河市では1人1日あたりのごみの排出量が全国平均と比べると多く、とりわけ事業系のごみの削減を図ることが喫緊の課題となっています。そこで今年10月1日より当社で提供するフードシェアリングサービス「タバスケ」を利用し、白河市内の飲食店と消費者とをつなぐ「しらかわタバスケ」を運用し始めました。

今回の出展では「しらかわタバスケ」の一層の普及のため、サービスの紹介、登録方法や利用方法のご案内をするとともに、食品ロス問題の啓発のためのポスター展示を行います。

しらかわ環境フォーラム

日時 令和5年10月15日(日) 午前11時～午後4時

会場 ◆しらかわ文化交流館 コミネス 小ホール
◆白河市立図書館 りぶらん駐車場

第1部 Dream Treasure☆Dance Studio
ダンスステージ
◆白河南中学校「ふくしまゼロカーボン宣言事業」
取組事例発表
◆第3回環境ポスターコンクール表彰式

第2部 さかなクン環境講演会
ギョギョ!!!
さかなクンと学ぶ
おさかなと環境のお話

さかなクン講演会には「整理券(無料)」が必要です。整理券は、10月1日(日)
(午前8時30分から正午まで)から、市役所本庁舎環境保全課窓口で配布
します。10月2日以降は月曜から金曜の午前8時30分から午後5時15分ま
での配布となります(土日祝日は配布できません)。おひとり様3枚まで。
※講演会の写真撮影、録音又は録画は、固くお断り申し上げます。
なお、記録及び広報誌掲載のため、写真を撮影することがございます。
お客様の笑顔が掲載される場合がございますので、ご了承願います。

■コミネス会場
*親子向けエコ工作教室 手作りの教室
*企業活動展示
・参加企業たくさん!
※詳しくは裏面を。

■りぶらん駐車場会場
*次世代自動車展示 *移動図書館ゆるりぶ
*キッチンカー
・ちりんこ白河 ・バン屋こはる日和
・農家の御結び ・無添加フルーツ専門店SHIFUKU
・I AM KOKO-PELLI
※詳しくは裏面を。

主催：白河市 お問合せ：白河市環境保全課 0248-22-1111

しらかわ  タバスケ

自治体向けフードシェアリングサービス「タバスケ」について

「タバスケ」は「あなたの“お得”が地球環境を助けます。」というコンセプトをもとに開発されました。食料品店は、まだ食べられるのに廃棄されてしまう可能性の高い食品を「タバスケ」上で安価に出品します。購入者は出品された中から欲しい商品を「タバスケ」内で購入予約したうえで、商品を出品する店舗に出向き直接購入する仕組みです。お得に購入することを通して食品ロス削減に貢献することのできる環境をつくっています。

なお、地方自治体が自治体内の店（飲食店・食料品店）に向けてサービスを提供する形態をとっており、購入者は自治体在住者でなくても利用可能です。なお、商品登録をする食料品店や購入者は無料で利用できます。（※1）現在多くの自治体が食品ロスの削減目標を掲げていますが、その達成のための具体的政策手段として「タバスケ」の導入が進んでいます。

2021年3月1日のシステムリリース以降、現在までに23自治体が「タバスケ」を利用してサービスを提供しています。2023年8月末までの累計で登録ユーザー数：44,937人、協力店舗数：379店舗、食品ロス削減量：21.2トンとなっています。

※1 店舗への商品代金は発生

食品ロス問題について

2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に基づく「持続可能な開発目標(SDGs)」(※2)でも、食料廃棄の削減が重要な柱として位置付けられるなど「食品ロス」は国際的に重要視されており、日本でも2019年10月には「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行されました。そして、家庭系及び事業系の食品ロスのいずれについても2030年度までに2000年度比で半減するとの目標が定められています。

その背景には、世界の食料廃棄量が年間約13億トンにのぼり、人の消費のために生産された食料のおおよそ3分の1が廃棄されているという実情があります。また、IPCC土地関係特別報告書で人為的な温室効果ガス排出量の8-10%が食品ロスおよび排気に由来する可能性が示されたこともあり、温暖化対策の観点からもこの問題が注目されています。

日本の食品ロス量は年間523万トンであり、これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量の1.2倍に相当します。日本の食料自給率(カロリーベース)は38%にとどまっており、食料の多くを海外からの輸入に依存している中で、大量の食品ロスを出していることも問題です。

※2 Sustainable Development Goalsの略称で2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標。目標12「持続可能な生産消費形態を確保する」において、食料廃棄の減少が重要な柱として位置付けられる

参考
食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針 令和2年3月31日閣議決定
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer.policy/information/food_loss/promote/pdf/promote.200331_0001.pdf(最終アクセス20230919)
消費者庁HP 食品ロスについて知る・学ぶ
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer.policy/information/food_loss/education/(最終アクセス20230919)
消費者庁特設サイト「めざせ!食品ロス・ゼロ」
<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/whats.html>(最終アクセス20230919)
サステナブルな食に関する環境省の取組について
<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000760254.pdf>(最終アクセス20230919)

直近の関連リリース

2023年10月3日リリース

<自治体×SDGs>地域の“お得”な情報を住民に配信

福島県福島市、愛知県江南市、福島県白河市、東京都文京区

「食品ロス削減月間」に合わせ4自治体で対策サービス提供開始

<https://www.atpress.ne.jp/news/370209>

当社の掲げるSDGs目標

当社で掲げるSDGs目標のひとつに「健全で持続可能な社会の実現」があり、この中で「可能なかぎりごみにしない社会を実現する」ことを目標に掲げています。この目標の達成指標として「フードシェアリングサービスの利用拡大により食品ロスを大幅に削減する」ことを置いており、引き続きサービスの普及と利用促進を通して食品ロス削減量を増やしていけるよう取り組んで参ります。

株式会社G-Placeについて

1968年に「日本グリーンパックス」という社名で事業をスタート。2019年5月、創業50周年を機に現社名に変更しました。「アイデアで未来をつくる、創造総合商社」を掲げ、さまざまな分野で独自性のある商品やサービスを提供しています。創業から一貫して、全国自治体のごみ減量促進を支援。また、再生可能エネルギーに関する資材や再生樹脂製品の販売、天然由来成分にこだわったオリジナルの化粧品や雑貨類の企画・販売、海外家電製品の輸入販売なども行っています。現在では海外にも拠点を設け、積極的に事業を展開中です。

<G-Placeが提供する自治体向けICTサービスラインナップ(一部)>

◆ごみスケ <https://gomisuke.jp>

全国150以上の自治体が導入するごみ分別アプリ。ダウンロード数230万以上。昨今需要の高い外国語・やさしい日本語に対応。

◆ごみサク <https://www.gomisaku.jp>

家庭ごみの減量化・適正排出を促進し、地球環境に貢献するための分別辞典サイト。地域×品目ごとに、正しい捨て方やリユース方法を簡単に検索可能。

◆パーズ <https://perze.jp>

「ごみ・子育て支援・防災」など必要に応じ自由にカテゴリ登録ができ、イベントやMAP、コラムなど様々なテンプレートを組み合わせて自治体毎のオリジナルアプリを作れます。

◆タベスケ <https://tabesuke.jp/>

自治体向けフードシェアリングサービス。まだ食べられるけれど廃棄されてしまう可能性の高い食品を購入者につなげることで食品ロス削減に取り組みます。

◆ロカスタ <https://locapo.jp/service/locasta/>

農林水産業・飲食店と地産地消に関心のある住民をつなぐツールです。直売所の情報やイベント情報のPRなどを通し、「地産地消」を推進・支援します。

◆ロカポ <https://locapo.jp>

G-Placeが提供する地域の課題解決・活性化につながる自治体向け製品の検索サイト。



「ごみスケ」トップページ

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社G-Place
経営企画グループ 広報：菊地
Email: kikuchi@g-place.co.jp

【事業に関するお問い合わせ先】

株式会社G-Place
公共イノベーション事業グループ
東日本営業チーム Email: kan2@g-place.co.jp
西日本営業チーム Email: kan1@g-place.co.jp

【会社概要】

商号: 株式会社G-Place (読み: ジープレイス)
所在地: 〒617-0835
京都府長岡京市城の里10-9
創業/設立: 1968年5月7日/1969年5月16日
代表取締役社長: 綾部英寿
公式HP: <https://g-place.co.jp>